

## セメント新聞

発行所 セメント新聞社  
 〒590-0001 堺市東区中央3-12-7  
 電話 030-3535-0201  
 FAX 030-3535-0202  
 URL <http://www.cement.co.jp/>  
 創刊 1951年 41,470円  
 ©セメント新聞社 2015

# 東西で1DAY PAVE施工

## 2日川崎、11日高槻

セメント緊急舗装技術専門委員会が構築した早期交通開放型コンクリート舗装「1DAY PAVE」の施工が年明け早々、神奈川県と大阪府で行われた。13年度以降、セメント工場やSSを中心に試験施工を重ね、昨年は山口、兵庫、岡山県の公共工事でも適用されている。今年も各地で施工され、同制度を含むコンクリート舗装の普及拡大が期待される。

### 共同受注ガイド適用

#### 中央砕石(高槻)で153m

大阪兵庫生コンクリート連合を目的で実施。大田工業組合は11日、高槻市の中央砕石と共同で1DAY PAVEの施工見学会を行った。同社の工場入り口に施工したもので、工組の調査研究開発事業の一つであるコンクリート舗装の普及策

施工規模は153平方メートルで、舗装厚さは25センチ。生コン打設量は39立方メートル。高槻市までの運搬時間は片道約40分。使用材料は原強ポルトランドセメントと高性能AR減水剤のほか、粗骨材は中央砕石の硬質砕石(15mm以下と20、10mmの混合使用)、細骨材は同社の硬質砕石砕砂と京都・城陽市の山砂。排水に留意したため

で敷き均した。日域は長手方向に1本、短い方は横向きに2本、午後10時より1時に入れた。打設翌日に交通開放するため、ジェットヒーターで暖めながら養生を行い、24時間後の日播曲げ強度3・5N/mm<sup>2</sup>に対して5・2N/mm<sup>2</sup>を確保した。



中央砕石(高槻)で打設した生コンの水セメント比は32%、タイ・シイ川崎工場(下)では30%。

中央砕石は以前から大型タシの通行が多いため工場入り口でのコンクリート舗装適用を検討していた。昨年4月に大阪市大正区の住友大阪セメントのセメント・コンクリート研究所での1DAY PAVE施工の報道を見て、大阪兵庫生コン連合に連絡したという。同工組は住友大阪の協力を得て検討を重ね、今回の適用となった。

施工は鹿島道路が担当。打設前日に路盤調整や鉄筋を敷設するなど事前の準備を行い、当日は午前8時から正午までかけて打設。バケットを用いたパイプレータで締めながら打込み、人力